

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 月 日

事業所名 このひかり西原校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2	0	活動に応じて配置を変更してスペースを設けている。	活動によりスペース不足と感じられる時があるため、配置や活動内容等を工夫してスペースの確保に努める。
	2	職員の配置数は適切である	4	3	0	利用者数と職員数のバランスを確認している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	4	0	段差がある箇所は踏み台を設置している。	体の小さな児童に対しての配慮が必要なため、必要に応じて改善・改修を行う。(入り口・トイレ等)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3	0	ミーティングを通して情報を共有する機会を設け、記録に残し確認できるようにしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	0		アンケートを実施し、これからの業務改善に繋げていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3	0		会報等で情報を公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7	0		今後は実施を検討し、評価結果を業務改善に繋げていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	0	月1回事業所内での研修を実施している。	今後は研修動画等のデジタル教材の活用方法を職員に周知し、同時に外部の研修など取り入れていきたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	0	日々の支援から利用者の課題を分析し、支援会議等で情報共有している。	
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3	0		今後はアセスメントツールの使用方法を職員に周知し、活用できるように改善している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	0	活動内容を全体で話し合いながら行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	0	利用者の課題に沿った活動を行っている。	新しい活動プログラム内容を検討し、取り入れていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	0	普段では出来ない活動を取り入れている。	今後は外部講師を招くなど、支援の幅を広げていけるように工夫する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5	2	0	日々のプログラム内に個別・集団活動を取り入れている。	今後は個別・集団活動内容を明確にし、職員全員が目的を周知して支援が行えるようにする。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	0	就業時にミーティングを行い、支援内容の確認や情報共有を図っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	0	終業前にミーティングを行い、支援内容の振り返りや利用者の様子などの情報を共有している。	パート職員を含めた全職員が遡れなく情報を共有できるように方法の見直しを行う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	支援記録を記入し、支援方法の検証・改善に繋げている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1	0	定期的に職員間で利用者の課題等を話し合い、支援計画に反映している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3	4	0		今後、研修等を通してガイドラインへの共通理解を図る。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0	担当者会議前には職員全体でミーティングを行い、利用者の情報共有を行っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	2	0	学校や自宅への送迎時等に情報交換を行っている。	学校によって情報共有等が図りづらいこともあるため、今後はスムーズな連携体制が取れるよう工夫が必要である。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	5	0	現在該当者なし。	必要に応じて連携を図るようにする。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3	0	相談員や保護者、児童発達支援事業所からの情報を共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	6	0	現在該当者なし。	利用者の記録は保管されているため、対応は可能である。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	1		利用者の変化に気付いた際など、すぐに連携を図り情報共有を行う体制を整える。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	1	6		今後、感染症予防対策を徹底した上で、環境が整えば計画ていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3	3		今後、状況が落ち着いたら検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1	0	主に連絡ツールや送迎時に情報交換を行っている。	必要に応じて関係機関と連携を図り、会議等を行うようにする。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4	0		職員でも研修を行い、保護者と共に支援について考える機会を設ける。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	0	契約時に説明を行い、契約後も保護者からの質問があった場合は説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	0	保護者と情報を共有し、支援を行っている。	必要や要望に応じて、関係機関と連携を図り、状況によっては面談の場を設けるようにする。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	3	コロナ感染症予防のため、今年度は実施していない。	感染予防対策に留意し、今後実施していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0		適切に対応できる体制を整えるようにする。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	0	連絡ツール等を通して発信している。	連絡ツールを使用していない保護者には、文書等で行事予定を発信しているが、今後は活動内容も発行していきたい。
	35	個人情報に十分注意している	6	1	0	契約時に説明を行っている。	日頃から周知徹底を心がけるように研修や文書等で注意喚起を行う。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	0	保護者の状況に応じて文書やメールなどで情報伝達を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	2	5	コロナ感染症予防のため、今年度は実施していない。	今後の社会状況を見て、これから実施できるよう検討していく。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	0	職員テーブル付近にマニュアルを保管している。	職員にはマニュアルの保管場所や使用方法を、保護者にはマニュアルを配布する等周知を行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	年3回訓練を実施している。	火災・地震・不審者対応の避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	定期的に研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	0	保護者と利用者に説明を行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	0	成分表などを確認を行っている。	保護者と連携を取りながら情報を共有していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	3	0	ミーティング等で情報共有している。	今後はヒヤリハット事例集の作成を行う。